

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



No. 39

事業管理者
新年あいさつ

新中期経営計画策定に向けて

市立芦屋病院 事業管理者

さ じ ふ み た か
佐 治 文 隆



新年おめでとうございます。

一昨年に引き続き、昨年も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にかき回されたわが国でした。パンデミックの大波の中、無観客で強行したオリンピック、パラリンピック、泥縄のワクチン接種、相次ぐ緊急事態宣言の延長などで、高支持率で発足した菅内閣も短命で消滅しました。代わった岸田政権下



アムールトラ(王子動物園)

で行われた衆議院選挙も与党が絶対安定多数を占め、大きな政治変革は期待できません。

コロナ禍に対応し、当院は一般外来と動線を異にする発熱外来、コロナ専用病棟を設置するとともに、高齢市民や合併症患者対象の新型コロナウイルスワクチン集団接種を行い、地域住民に自治体病院としての責務を果たして来ました。また、厳重な感染予防策を取ることで、院内クラスターの発生ゼロを続けています。緊急事態宣言が解除されても感染リバウンドの可能性を警戒して、当面は現状の対応を維持し、徐々に制限を緩和していくつもりです。

病院運営については、従来の新改革プランを引き継ぎ、「市立芦屋病院新中期経営計画」を本年4月から発足させます。本計画は目標達成を目前にコロナ禍で挫折した新改革プランをリセットし、コロナ後の医療需要や超高齢社会を見据えた内容になります。がん対策の強化、救急医療体制の強化、超高齢社会への対応、地域医療への貢献、優れた医療従事者の確保と育成などの重点取り組みに加えて、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症への対応やセキュリティに配慮した医療ICT化への取り組み等々、新たな課題に対する計画が含まれています。病院外部委員から成る「市立芦屋病院新中期経営計画策定委員会」で作成された計画案は、パブリックコメントを経て最終案が作られ、市議会へ報告ののち執行される予定です。

今年の干支の虎は勝れた行動力の持ち主で、「虎は千里行って千里帰る」といいます。私たちも虎に負けない行動力で、市民の方々とともによりよい芦屋病院を作っていきたくと存じます。ご支援、ご協力をお願いいたします。

休日 がん検診 の開催

平日は仕事や家事で忙しい方のために、休日がん検診を開催いたします。
早期発見のため、是非この機会にご受診ください。

※検診無料クーポンを利用できますので、お持ちの方は必ずご持参ください。

日時 令和4年2月20日(日)
午前9時から午前11時30分

場所 市立芦屋病院 外来棟3階

申込み 下記まで(事前予約制)

問合せ 市立芦屋病院 医事課 検診担当

TEL 0797-31-2156(代表)

※お電話受付時間：平日 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

- 乳がん検診(エコー)39歳までの方(定員5名) …… 5,775 円
- 乳がん検診(マンモグラフィー)40歳以上の市民 …… 2,000 円
- 子宮頸がん検診(問診・細胞診)20歳以上の市民 …… 1,000 円
(オプション)子宮超音波検査 …… 3,300 円
- 肺がん検診(CT撮影) …… 8,800 円
- 大腸がん検診(便潜血) …… 1,650 円
- 前立腺がん検診(採血) …… 6,875 円
- 肝炎ウイルス検診(採血) …… 3,630 円

※表示価格は全て税込価格です。

整形外科・リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科 部長 城山 晋 じょう やま すずむ



左側:城山リハビリテーション科部長 右側:荒木副病院長

整形外科・リハビリテーション科は医師4名、理学療法士6名、作業療法士1名、言語聴覚士1名の常勤職員と整形外科医3名、言語聴覚士2名の非常勤職員を中心に運営しています。

10月1日から整形外科医が2名増員となり、1ヶ月目から例年より手術件数は増加しており、現在市立芦屋病院内でも勢いのあるチームと自負しています。

とくに力を入れているのは、加齢によって軟骨がすり減ったり、半月板が傷んだりして起こる変形性膝関節症などの治療です。病状に応じて人工膝関節の手術を中心に、関節を温存する関節鏡による、いわゆるクリーニング手術も行っています。骨折の治療は、損傷の程度に応じて、手術治療とギプスなどによる保存治療を組み合わせで行っています。骨折の手術治療(脊椎・骨盤・開放骨折などを除く)には、いずれも経験豊かなメンバーが治療に当たっています。

手術が必要になる方の多くは、長年にわたって関節の痛みで悩まれている方や、急な事故や思いも寄らぬ怪我で骨折をされた方です。わたしたちは手術前から患者さんとともにリハビリを行い、十分に回復していただけるよう努力しています。

手術を受ける人だけにリハビリが必要なわけではありません。ご高齢になって、骨や関節に問題があり、移動能力が低下した状態『ロコモ』、特に筋力が弱ってくる状態『サルコペニア』、身体的なことだけでなく精神的、社会的なことも含めて、いろいろな能力が衰えてきた要介護状態の一步手前の『フレイル』などの言葉、概念を目や耳にする機会が増えていていると思います。

手術を受ける人だけにリハビリが必要なわけではありません。ご高齢になって、骨や関節に問題があり、移動能力が低下した状態『ロコモ』、特に筋力が弱ってくる状態『サルコペニア』、身体的なことだけでなく精神的、社会的なことも含めて、いろいろな能力が衰えてきた要介護状態の一步手前の『フレイル』などの言葉、概念を目や耳にする機会が増えていていると思います。

わたしたちは手術が必要な方だけでなく、地域で生活されている方の様々な問題に早期から関わって、解決あるいは予防できるように、リハビリテーションを入り口として取り組んでいます。『高齢リハビリ外来』を設けて、対象となる方の診察を行っていますので、身体に不安を持たれている方はご相談いただければ、医師、理学療法士が評価し、治療が必要な病気がないかチェックすることができます。いわば『運動能力の人間ドック』です。もちろん不安だけでなく、既に問題が生じている方は通院、入院を含めた治療で対応いたします。



整形外科医のご紹介



副病院長
あらき のぶ ひと
荒木 信人

診療科及び専門分野
整形外科

骨軟部腫瘍、転移性骨腫瘍、
がんのリハビリテーション

資格

日本整形外科学会認定整形外科専門医/日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医/義肢装具等適合判定医/身体障害者福祉法第15条第1項指定医(肢体不自由)/大阪市小児慢性特定疾患指定医/難病指定医/重粒子線治療共同研究組織運営委員会骨軟部腫瘍分科会委員



部長
なわ げん
名和 厳

診療科及び専門分野
整形外科

膝関節外科、内視鏡治療、
人工関節手術 など

資格

日本整形外科学会認定整形外科専門医
難病指定医



リハビリテーション科部長
じょう やま すずむ
城山 晋

診療科及び専門分野
整形外科

骨・軟部腫瘍、
外傷整形外科

資格

日本整形外科学会認定整形外科専門医/日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医/難病指定医/がんのリハビリテーション研修会修了



医長
いし かわ なお き
石川 直輝

診療科及び専門分野
整形外科

一般整形外科

資格

日本整形外科学会認定整形外科専門医

手術室のご紹介

手術室 看護師長 みつい まゆみ 三井 眞由美

サージカルヘルメットを使用して手術を行う整形外科医師

手術室といえば、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

手術室では感染を防ぐため、清潔に注意しています。実際、手術室にはHEPAフィルター（超高性能フィルター）という、大型の空気清浄機が設置され、天井から手術台に向けて清潔な空気が流れるようになっています。中でも、最も清潔な空間をBCR（バイオクリーンルーム）と呼び、1番大きなHEPAフィルターが設置されています。BCRは、NASAのクラス基準で、クラス1,000に相当します。これは、1立方フィートあたりの粒子数（細菌・ウイルス・塵埃など）が1,000個未満であることを示しています。

現在、流行中の新型コロナウイルスの大きさは約 $0.1\mu\text{m}$ （マイクロメートル）。そのウイルスを含む飛沫（くしゃみや咳）は、ウイルス本体より大きく $0.5\mu\text{m}$ です。HEPAフィルターは、これら浮遊するウイルスや塵埃を捕集し、空気を清浄化しています。

私たちは手術が終了すればすぐに、専用の洗浄液で全ての器械と室内を清掃し、常に手術室内が清潔であるように努めています。

手術の中でも、最も清潔さを要求される手術は、整形外科の人工関節手術です。BCRで行う人工関節手術で、医師と器械出し看護師は、滅菌された術衣と特殊なヘルメットを被り手術を行います。その姿は、まるで宇宙飛行士のような姿で清潔さを保ち、感染防止に努めています。

また、担当する手術室看護師は病室に術前訪問にうかがいます。手術に関する質問など遠慮なくご相談ください。

手術当日は、緊張感が少しでも和らぐように、手術室内で好きな音楽を聴いていただくことができます。お手持ちのCDを持参されてもかまいません。

安全に留意することはもちろんのこと、少しでもリラックスした雰囲気の中、安心して手術を受けられるようスタッフ一同、笑顔で皆さんをお待ちしております。



リハビリテーション科ご紹介



リハビリテーション科は、個別のリハビリだけでなく、栄養サポートチーム、呼吸ケアサポートチーム、緩和ケアチームなどあらゆる医療チームに参加し、その専門性を発揮しています。スタッフ一同、チーム全体でアプローチすることをモットーとしています。困っていることがあれば、いつでもご相談ください。

当院ホームページから連携医療機関のホームページにアクセスできるようになりました！！



QRコードはこちらです



【連携医療機関URLホームページ】

<http://www.ashiya-hosp.com/gairai/iryokukan.html>

各種行事のお知らせ

マチネーコンサート・両親学級・公開講座・糖尿病教室

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、イベントの開催を中止させていただきます。今後のイベント開催の可否については当院のホームページをご覧ください。

事業管理者のつづやき

市立芦屋病院 事業管理者 **佐治 文隆**

虎文様

わが国の十二支には想像上の生き物である龍(辰)を除いてすべて実在の動物があてられています。その大部分は野生あるいは家畜として古くから日本に生息していたと考えられますが、今年の干支の虎(寅)だけは例外です。虎はインド、インドネシア、タイ、中国、ネパール、バングラデシュ、ラオスなどのアジアに分布生息し、カンボジア、朝鮮、ベトナムなどでは絶滅したと考えられています。中国では虎は好んで竹林に棲むと言われ、「竹虎文(たけとらもん)」として一緒に文様化されることが多く、衣服や陶磁器の図柄に見られます。

わが国の焼き物は陶器が先行し、17世紀初頭に朝鮮から磁器を焼く技術が導入されました。肥前有田(佐賀県)で原料となる白磁鉱が発見されたことから、日本で最初の磁器の産地となり、有田焼が生まれました。のちに美濃焼、瀬戸焼、九谷焼などが肥前有田を追随し、各地で磁器が焼かれるようになったのです。中国磁器の影響を受けた白い素地に藍色一色の濃淡が美しい「染付磁器」、赤を基調とした鮮やかな色絵が施された「色絵磁器(赤絵)」など有田焼を中心とする肥前の磁器は、積み出し港の名に因んで「伊万里焼」と総称されます。明治以後に作られた「伊万里焼」と区別して、江戸時代に焼かれた骨董的価値のある作品をとくに「古伊万里」と呼びます。

古伊万里に魅せられた神戸の収集家、赤木清士氏(1932-2019)が、1965年ごろから集めた有田焼を中心とする200点以上の陶磁器「赤木清士コレクション」を兵庫陶芸美術館に寄贈されました。昨夏、受贈記念コレクション展「古伊万里に魅せられてー江戸から明治へー」の案内をいただき訪問しました。コレクションの製作年代は約6割が江戸期、また9割が肥前で作られたもので、大皿

をはじめ多種多様な形態の器が収集されています。力士や紅毛人などヒトの文様、象や鯨、亀、猿など動物の文様に交じって、「竹虎文」の作品も見つけました。「染付竹虎文大皿」「染付竹虎文長皿」で、いずれも江戸時代の有田焼、白地に藍色の染付です。前者は竹林でコミカルに逆立ちして遊ぶ虎がいて、余白に雨が斜め方向に流れるように降っている構図で、後者では太い竹葉の下で座してこちらを睨む虎が描かれています。長皿の方は4枚組みのセットです。虎だけの文様も2点あります。一つは「唐人物虎文徳利」で、寝そべった虎の前に人物が描かれた徳利です。もう一つは可愛い顔つきの虎が描かれた「染付虎文皿」で、皿の裏面三方に竹文様が施され、ここでも竹と虎の文様が表裏で対になっています。



古伊万里の絵付けは省力化のため型紙が用いられることもありますが、原則的に手描きです。そういえばデンマークの有名陶磁器メーカー「ロイヤル・コペンハーゲン」の工房では、製品のすべてが手描きで絵付けされ、アーティストがサインを入れていました。一見大量生産のような陶磁器であって

も、洋の東西を問わず手描き作品には一品一品に作者の思いがこもっています。同じ文様の絵皿であってもその時々製作者の心が異なることを、また鑑賞する私達の心も異なっていることを意識する必要があります。

仏教に「唯識(ゆいしき)」という思想があるそうです。あらゆる物事を、各自の心に立ち返って考えることだそうです。わかりやすい例は「手を打てば鯉は餌と聞き鳥は逃げ女中は茶と聞く猿沢の池」という和歌でしょう。耳に届くのは各々の心が思い浮かべた音なのです。医療者と患者の関係においても示唆に富む考えですね。

(2022.1.1)

事業管理者のつづやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧ください。

市立芦屋病院 ご案内

●●●●交通案内●●●●

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

タクシー
約7分

バス
約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番

徒歩
約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください **無料**

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念
芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本医療機能評価機構 認定施設(3rd G: Ver. 2.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>